

放課後等デイサービスSui 事業所職員向け自己評価表 令和5年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			基準は満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	1	トイレ・階段の手すりは設置されているがバリアフリーではない為、今後必要であれば設置の検討を行っていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			非常勤も含めると全員で行うことが難しい状況ではあるが、記録や伝達を用いて全職員に行き届くよう取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			面談や直接お話しした際にお聞きした意向を職員間で共有し、都度検討を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページにて公開をおこなっている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		6	第三者評価は現在行っていない。民間企業や公益法人に依頼した場合、とても高額な費用が必要と聞いているが、今後当法人の経営に余裕が出来た際は検討していきたいが現段階では難しく感じている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			定期的に開催している。 虐待防止・身体拘束・感染症防止・スキル向上などの研修に参加している。（社内・社外）
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			アセスメントシートにて保護者様への聞き取り、可能ならばご利用時への聞き取りを行い、職員会議に手ニーズや課題を共有し計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3		WISKや田中ビネー等の検査を受けられた方には、出来るだけ結果をお知らせ頂くようお願いしているが、全員分頂けているわけではない。当事業所で準備しているアセスメントシートは個人ファイルに全員分保管している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			各人が毎月案を持ち寄り検討している。 非常勤も含めると全職員で立案を行っていくことは難しい状況にあるが、事前に意見を案を聞いておくなど、全員で行えるよう工夫していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			出来るだけご利用者全員に楽しんで頂けるプログラムを考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			職員間で話を言い設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			活動の様子を検討し職員会議にて支援内容に関する意見交換を行いその後計画書の作成を行っている。また、ミーティングにて内容の確認を行っている。

の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援開始前のミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	6		1	翌日に、前日の振り返りと当日の打ち合わせを行っている。 特記があった際には当日中に報告している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			ありのままを記載するようにしている。また、記録の記載についての説明をおこない、必要性について職員にも理解を得ている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			事業所内での計画書に対する検討会議や、保護者様との面談を通し計画の見直しを検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			ガイドラインをしっかりと理解し、自分がどのような立ち位置でどのような支援を行わなければならないのかを職員全員が理解できるよう努めていきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7			主に児童発達支援管理責任者が参加している。令和5年度の後期は、OJTも参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校によっては関わりが難しい場合があるが出来るだけ情報の共有など行って頂けるよう今後もお願いしていく。	
	22	医療的ケア児が必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					現在、医療的ケア児がいない為、全員未回答
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7				令和5年度は該当児童の登園しているこども園等や児童発達支援事業所と情報共有を行った。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		3		当事業所を立ち上げて、まだ学校を卒業した児童が存在していない為回答不能。 未回答3名
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				事業所内の事案に対する助言を頂いているが、特定のご利用者になっている。 発達障がい者支援センターに研修を依頼し社内研修を行った。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいがない子どもと活動する機会があるか	6		1		令和5年度は、近隣の児童クラブと交流する機会があったが、本当に少ない回数だった為、令和6年度は機会を増やしていきたい。また、由布市の様々な児童クラブと交流を図っていきたい。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7				令和5年度は欠席することなく、開催された全ての自立支援協議会（こども部会）に参加した。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡帳やLINE、電話や直接お会いした際など伝え合うことが出来ている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			令和5年度は限られたご利用者数名ではあったが、ペアレントプログラムを実施した。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			ご利用契約の際に説明を行っている。また、月のお知らせにてその都度伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者様の悩みや相談を聞く機会を増やし、会議などで共有し必要な助言等を行えるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	5	2		令和5年度は、近隣の事業所と合同での保護者向け研修会を開催したが参加者が少なかった。より多くの方にご参加頂けるよう、検討し企画していこうと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情窓口に関する説明は重要事項の説明の際に行っている。普段より、苦情に繋がらないよう気になることがあった際には出来るだけ詳しくその都度説明を行うよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月、お知らせと行事予定をシステム（HUG）にアップしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			十分に注意し取り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			ご利用者個々の特性に合わせ伝達を行っているが、より寄り添った支援を行えるよう職員間で検討、共有を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			令和5年度は地域住民を招待する行事は行っていないが、令和6年度の行事で計画されている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルを作成し事業所内に掲示、また職員に配布を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			令和5年度は2回避難訓練をおこない、3回目を3月28日に予定している。（内1回は消防署の立ち会いのもと）
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			毎日、振り返りシートやチェックシートに記載や研修をおこなっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			デイサービスの支援計画書に記載をおこなっている。また、指針を設け、同意書と共に保護者様にお知らせしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		医師から直接指示書を受け取っているわけではないが、保護者を通し支持を受けている。情報の共有を全職員で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			朝のミーティングの際に前日のヒヤリハットを報告しあっており報告書を作成している。また、個別の支援会議での検討事項の際に共有をおこなっている。